

原発災害 「復興」の影

■取り除く④

男性(47)は現在、郡山市で当1万円を寮、食事付き」除染の仕事をしているが、との求人に応募した。国から1月に現場に入ってきた作業員から「ここに来る前の作業員から「ここに来る前の作業員から」に業者を一つ挟んだ「3」葛尾村の現場の作業員は日給1万円で働いていた」と打ち明けられた。同村の除染なら危険手当だけで1万

請けで、すでに危険手当の分も抜かれていた」満額もらえぬ労働者

同労組によると、環境省などの指導で昨年夏ごろから、危険手当は適正に支払われるよう、繰り返し指導している」

ネコンの鹿島建設、大成建設、大林組は福島民友新聞社の取材に対し「各事業主に確認し、賃金が適正に支払われるよう、繰り返し指導している」

しかし、2次下請け以下の台帳に載らないお金の動きがあったら、元請けで全て把握するのは難しいとい

除染業者 中抜き横行

一部で危険手当不払い

「いまだに賃金不払いや雇用契約書を交わさない現場がある」。ふくしま連帯労働組合書記長の佐藤隆(60)は除染作業が始まった2012(平成24)年夏ごろから、除染作業員の相談を受け、多くの除染業者と交渉を重ねて待遇改善を図ってきた。

日給の総額は1万円

同労組に昨夏、特殊勤務手当(危険手当)の一部不払いの相談をした北海道の

円が支払われ、さらに時給が支払われるため、本来なら日給は2万円近くになるはず。「以前の自分と同じだ」と思った

男性は1年前、国直轄除染の檜葉町の現場で、日給1万円で働いていた。「日

円が支払われ、さらに時給が支払われるため、本来なら日給は2万円近くになるはず。「以前の自分と同じだ」と思った

男性は1年前、国直轄除染の檜葉町の現場で、日給1万円で働いていた。「日

円が支払われ、さらに時給が支払われるため、本来なら日給は2万円近くになるはず。「以前の自分と同じだ」と思った

月18日間ほど除染で働いた作業員の給与明細。特殊勤務手当(危険手当)に比べ基本給が低く抑えられているのが見て取れる

円が支払われ、さらに時給が支払われるため、本来なら日給は2万円近くになるはず。「以前の自分と同じだ」と思った

男性は1年前、国直轄除染の檜葉町の現場で、日給1万円で働いていた。「日

円が支払われ、さらに時給が支払われるため、本来なら日給は2万円近くになるはず。「以前の自分と同じだ」と思った

男性は1年前、国直轄除染の檜葉町の現場で、日給1万円で働いていた。「日

円が支払われ、さらに時給が支払われるため、本来なら日給は2万円近くになるはず。「以前の自分と同じだ」と思った